

小白川町の歴史と自然の再発見

① 馬見ヶ崎プールジャバ

ちょっと立ち止まり耳をすまして、馬見ヶ崎川のせせらぎを聞いてみましょう。



② 桜並木

春になると河川沿いの200本の桜が市民を癒してくれます。



③ 松原緑地(親水広場)

身近に水に親んでもらえる場所として整備されました。



400年の歴史ある山形五堰をたどりながら、春は満開の桜、夏には新緑の林道となり、河原の芋煮会は秋の訪れを感じさせてくれる自然散策コースです。



馬見ヶ崎プールジャバ ゴール

⑨ 小白川第一分水工

ここは「御殿堰」と「八ヶ郷堰(はっかごうぜき)」が分かれるところです。水の分配をつかさどる「天之水分神(あめのみくまりのかみ)」が祀られています。



⑧ 勝軍地蔵尊 (頭加智地蔵尊)

愛宕神社参道入口に鎮座する市内最大級のお地蔵様です。勝負事に勝つ、街道を守る道饗の守り、また安産・子育てのお地蔵様として信仰を集めています。古く義光祭では小白川のシンボルとして山車のモデルになりました。愛宕神社の本殿は、ジャバ前の広場から山側へ入った鳥居の奥、盃山の中腹にあります。



④ 松原浄水場

山形市で使用する水道水の約4割を供給している施設です。

⑤ 松原配水場

公園の裏手には笹堰が流れています。

⑦ 十二柳公園

公園の一角に地下水の人工涵養(かんよう)池があります。貴重な資源である地下水の保全と地盤沈下の予防を目的として整備されました。

